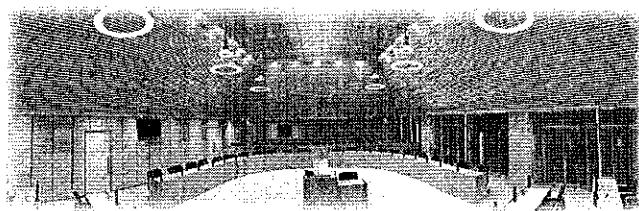
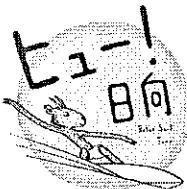


令和元年第5回日向市議会定例会

一般質問通告書（傍聴者用）



質問日		質問順位	氏名	会派	ページ
12月9日 (月)	午前	1	黒木 万治	-----	1
		2	徳永 幸治	市民連合	3
	午後	3	三輪 邦彦	市民連合	5
		4	畠原 幸裕	市政会	7
12月10日 (火)	午前	5	松葉 進一	-----	9
		6	海野 誓生	市民連合	12
	午後	7	森腰 英信	市政会	14
		8	西村 豪武	改革クラブ結い	17
12月11日 (水)	午前	9	友石 司	市政会	20
		10	三樹喜久代	公明党市議団	22

[お願い]

■議場内では、携帯電話等の通信機器の電源をお切りになるか、マナーモードにして、通話はしないでください。

■本会議の様子はインターネットで中継します。傍聴席も中継映像に映る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 午前の開始は 9時30分、午後の開始は 1 時からの予定です。

(2019) 令和元年 12月 2日

日向市議会議長 黒木 高広 様

[2 番] 日向市議会議員

黒木万治


印

発言（一般質問）通告書

令和元年第5回日向市議会定例会において、下記のとおり一般質問をいたしますので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

質問順位 1番

質問項目	内 容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
基本姿勢	<p>1. 安倍首相らの税金の私物化で大問題になっている「桜を見る会」について</p> <p>招待者は本来、「各界の功労者を招いて慰労することが目的」であるはずの会が 18,000 人も招待客が膨れ上がり、安倍首相の後援会員、昭恵夫人の「お友達」、反社会的人物、特定商取引違反で捜査を受けた会社の元会長、なぜ自分が呼ばれたか分からぬと言う人達などである。</p> <p>さらには、「政治資金規正法違反」の疑いが出てきている。</p> <p>安倍首相らは、国民の前で真相をしつかり説明すべきだと考えるが、この件に対して、どう受け止めておられるのか、答弁を求める。</p>	市長 教育長
基本姿勢	<p>2. 安倍政権の経済政策について</p> <p>安倍政権は 2019 年度補正予算の編成の検討を本格化させているが、もともと「アベノミクス」などと言ってきた安倍政権の経済対策は、大企業や富裕層を大儲けさせただけで、勤労者の賃金上昇や中小企業・業者の売り上げ向上には結びついていない。貧困と格差は拡大するばかりである。</p> <p>経済対策をするのであれば、消費税率を 5 % に戻すことで、消費不況を少しでも解消し、最低賃金の引き上げや中小企業・業者の支援、社会保障の充実など、市民の暮らしを応援する抜本的な転換が求められると思うが、どういう認識か、答弁を求める。</p>	市長 教育長

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
基本姿勢	<p>3. 安倍政権がこの7年間にやってきたことは、憲法と平和、暮らしと経済、民主主義と人権、地方切り捨てなど、あらゆる分野で最悪の政権である。今こそこの政権を終わらせ、新たに</p> <ul style="list-style-type: none"> ①憲法に基づき立憲主義、民主主義、平和主義を回復する ②格差をただし、暮らし、家計応援の政治に切り替える ③多様性を大切にし、個人の尊厳を大事にする政治を築く <p>この方向で、安倍政治にかわる新しい希望ある政治の道を実現しなければと思うが、見解を問う。</p>	市長 教育長
介護行政	<p>4. 安倍政権は、来年の通常国会に提出を予定している介護保険制度改革改定案で</p> <ul style="list-style-type: none"> ①現在、無料のケアマネージャーによる居宅介護支援（ケアマネジメント）費に1割負担を導入しようとしている ②要介護1、2の訪問介護のうち、ホームヘルパーが家事支援をする「生活援助」を保険給付から外して、市町村の「総合事業」へ移すなどの負担増と給付削減 <p>を検討しているが、これらの改悪案について、反対の声を上げるべきではないかと思うが、答弁を求める。</p>	市長
福祉行政	<p>5. 先月、滋賀県野洲市などの行政視察を行ったが、この野洲市の生活困窮者支援事業は、国の制度をも生かしながら、きめ細かく行われていた。その1つとして、生活福祉資金貸付制度について、野洲市社会福祉協議会は独自に実施する小口貸付（3万円上限）を制度化している。</p> <p>市が財源を補助して運営を行っているので、県社協に相談することなく運営できるとのことであった。</p> <p>この点だけでも検討すべきだと思うが、どうか。</p>	市長



(2019) 令和元年 12月 2日

日向市議会議長 黒木 高広 様

[7番] 日向市議会議員 徳永 幸治



発言（一般質問）通告書

令和元年第5回日向市議会定例会において、下記のとおり一般質問をいたしますので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

質問順位 2番

質問項目	内 容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
一般行政	<p>1 国道・県道に除草剤を散布することについて。</p> <p>宮崎県は国道・県道の路肩に除草剤を散布していますが、山側に散布した場合がけ崩れの原因にもなりかねません。</p> <p>又、耳川は日向市民の大事な水道源です。20年後、30年後に市民に健康被害が出るのではないかと危惧されます。</p> <p>使用されている除草剤はラウンドアップといい、アメリカでは、この製品によりガンになったとして裁判が起こされ、製造元のモンサント社が敗訴した経緯があります。</p> <p>土木事務所職員に問い合わせたところ予算がないので除草剤散布で草に対応しているとのことです。</p> <p>美郷町、諸塙村、椎葉村は、国道のがけくずれが起これば孤立する可能性があります。</p> <p>是非美郷町、諸塙村、椎葉村と合同で県に対して除草剤の散布中止の要請ができないかお尋ねします。</p>	市長
水道行政	<p>2 木原都市下水路管理道路の舗装の原状回復を。</p> <p>平成27年に木原都市下水路の拡幅が完了しました。</p> <p>しかしながら、それまで使用していた農業道路は舗装されていたのに下水路管理道路となってからは舗装されていません。</p> <p>近年の猛暑、そして長雨によって草が生い茂り車の通行が出来なくなりました。</p> <p>舗装の復元については、3年前から地元自治会が市に要望していますが、予算がないということで対応がなされておりません。除草剤を散布してはどうかとの声もありますが、それこそ道路の安全性や農作物の安全性への影響が危惧されます。</p> <p>下水路管理道路の舗装の原状回復ができないかお尋ねします。</p>	市長

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
教育行政	<p>3 給食に有機栽培の食品を導入することについて。</p> <p>文部科学省が2012年に発表した調査結果によると、全国の公立小中学校の通常学級に在籍する児童生徒のうち、発達障がいの可能性があるとされた小中学生は6.5%もいます。</p> <p>この原因の一つに食（農薬）が大きいと云われています。</p> <p>現在使われている農薬はネオニコチノイド系農薬です。この農薬は、ミツバチの帰巣本能を壊し、ミツバチが激減した原因と云われている農薬です。</p> <p>特に胎児期から幼少期の子供の脳の神経細胞が正常な発達を阻害されると云われています。</p> <p>そこで以下について質問します。</p> <p>(1) 市内の小中学校の発達障がいの児童生徒数の状況を問う。</p> <p>(2) 子供の脳を守る為、有機栽培のものに切り替えられないか</p>	市長 教育長
一般行政	<p>4 総合体育館建設について。</p> <p>先日、総合体育館建設基本構想案について説明を受けました。</p> <p>6,000m²で30億円～40億円のこと。</p> <p>1m²当たり50万円、1坪当たり165万円となります。</p> <p>今、日向市は予算がないと言って市民の要求には答えられない状況が続いていると思います。</p> <p>先ほど質問した市民からの切実な要求である舗装問題も予算がないと言ってにべもない応答です。</p> <p>説明の中では、遠方地には催し物があるときはシャトルバスを運行するといったことでした。</p> <p>そこで質問します。</p> <p>(1) 少子高齢化によって日向市の人口も激減しようとしています。問題は建設費もさることながら維持費です。シャトルバスまで出そうかと云う予定ですが、今回の総合体育館が完成後の維持管理費についての見通しを問います。</p> <p>(2) 今後の日向市すべての公共施設（市庁舎含む）の維持費の現状と今後の見通しについて問う。</p> <p>(3) 今後20年間における、橋・公共施設の建て替えの見通しについて問う。</p>	市長



(2019) 令和元年12月2日

日向市議会議長 黒木 高広 様

[6番] 日向市議会議員 三輪 邦彦 印

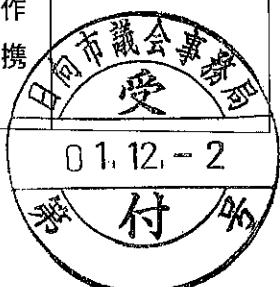
発言（一般質問）通告書

令和元年第5回日向市議会定例会において、下記のとおり一般質問をいたしますので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

質問順位 3 番

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
福祉行政	<p>1. 子どもの貧困や今日の社会的な問題について</p> <p>(1) 第2期日向市子どもの未来応援推進計画（以下、「第2期計画」とする）について</p> <ul style="list-style-type: none">① 「第2期計画」策定の進捗状況を問う。② 前回（6月議会）の質問での答えにあった「アンケート調査」の実施状況と現時点での分析結果を問う。また、その結果を踏まえて、現在の段階でどのように取り組んでいくと考えているのかを問う。③ 今後の「第2期計画」策定のスケジュールを問う。④ 「第2期計画」策定の府内会議及び未来応援会議の実施状況及び検討内容を問う。 <p>(2) 国、県の動きについて</p> <ul style="list-style-type: none">① 国：「改正子どもの貧困対策に関する大綱」（2019年11月29日閣議決定）についての認識を問う。② 県：「第2期宮崎県子どもの貧困対策推進計画」（2020年3月）に向けた素案（2019年11月14日協議）についての評価を問う。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none">① 2020年4月導入される「低所得者世帯を対象にした高等教育の就学支援」の内容を問う。② 上記①のことについて、日向市内の高等学校への周知状況や考えられる影響・課題について問う。③ 行政が把握している日向市内の「引きこもり」についての状況について問う。④ 上記③について、行政の取り組みと課題について問う。⑤ 日向市でサーファーの事故が相次いでいる。ここ10年間の事故の状況について問う。⑥ 上記⑤について、日向市の取り組みと課題について問う。⑦ 増税対策プレミアム商品券の申請状況について問う。	市長 教育長

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
福祉行政	<p>2. 教職員の働き方改革や学校教育について</p> <p>(1) 現在、参議院で「1年単位の変形労働時間制」を導入するための法案が審議されていることや、宮崎県の教員採用試験の大幅緩和、また他県（神戸市立東須磨小学校）での同僚教師ハラスメントについて</p> <p>① この法案（「1年単位の変形労働時間制」を導入するための法案）についての認識を問う。</p> <p>② 宮崎県が教員採用試験の内容を大幅緩和したことについての認識を問う。</p> <p>③ 他県（神戸市立東須磨小学校）での同僚教師ハラスメントが発覚した後、このことに係わり日向市内の公立学校で何かの取り組みを行ったのか。また、今までのハラスメント対策やハラスメント事案について問う。</p> <p>(2) 学校教育に関することについて</p> <p>① 2018年度文部科学省「問題行動・不登校調査」における日向市の子どもの諸状況（「いじめ」「不登校」）について問う。</p> <p>② 上記①についての認識と取り組み、課題について問う。</p> <p>③ SNS（会員制交流サイト）をきっかけに犯罪に巻き込まれる事案が増加する中で、関係機関や保護者の危機意識等の認識を問う。</p> <p>④ 上記③についての取り組み、課題について問う。</p> <p>⑤ 「外国人の不就学」問題について、日向市の状況を問う。</p>	市長 教育長
福祉行政	<p>3. 重症心身障がい児・者に対する施策について</p> <p>(1) 日向市の「teとteままの会」の要望について</p> <p>10月18日に日向市長に提出された要望書（1. 災害時避難の支援要請と利用可能な福祉避難所の設置 2. 重度心身障がい児の放課後等デイサービスや生活介護など日中預かり先の拡大 3. 短期入所施設の設置 4. ユニバーサルシートの設置など公共施設のバリアフリー化 5. 障害者センター「あいとぴあ」の利用について）、このことについての認識を問う。</p> <p>(2) 日向市の状況について</p> <p>① 本市における「医療的ケア児」の状況と課題についての認識を問う。</p> <p>② 災害時の「要配慮者利用施設」避難計画の作成状況について問う。</p> <p>③ 医療的ケアに対処できる人材育成や専門家（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、医者、研究者等）との連携について、現状と課題を問う。</p>	市長 教育長



(2019) 令和元年12月2日

日向市議会議長 黒木 高広 様

[19 番] 日向市議会議員 畠原 幸裕



発言（一般質問）通告書

令和元年第5回日向市議会定例会において、下記のとおり一般質問をいたしますので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

質問順位 4 番

質問項目	内 容 (具体的な質問事項)	答弁を求める者
一般行政	<p>1. 企業誘致について</p> <p>平成元年から国内での工場立地件数が急激に減り続け、大手企業が海外移転すると、取り引きをしていた中堅、中小企業も移転せざるをえないケースが多く、国内から工場や人材が流出し、空洞化が進んできたと言える。しかし、平成14年を底に国内での工場立地件数が再び増加し始めた。日本の賃金水準が過去20年間で僅かしか上昇しなかったため、経済発展に伴い賃金が上昇してきた海外の途上国と比較してもさほど高いとはいえない水準になったことが要因である。企業にとっては安全性や国内での税制優遇措置なども含めて考えれば、国内拠点設立にメリットが出てきたといえる状況にある。又、政府もこれまでにまして地方自治体への企業誘致をバックアップしており、平成30年の税制改正においては、東京から地方に本社機能などを移転した企業の税負担を軽減する措置も拡充されている。</p> <p>そのような中、企業誘致は市長の重要施策の一つであると思うが、市長就任以降の企業誘致実績について伺う。</p> <p>また、本年4月から産業集積・物流担当理事職を廃止したが、企業誘致の体制に支障は出でていないか伺う。</p>	市長
一般行政	<p>2. 東郷工業団地の整備について</p> <p>南海トラフ地震による沿岸部への津波等の影響が懸念される中、内陸部の工業団地整備が求められているところである。東郷工業団地については、その用地買収もほぼ完了し、また国道327号のバイパス工事も進められていることから、好条件を有していると思うが、企業からの照会等、現在の状況について伺う。</p> <p>また、造成等の事業費が整備に対する課題であるとするなら、日向市においても過去に実施している「自衛隊による部外土木工事」</p>	市長

	を活用することはできないか。整備に対する市の方針を伺う。	
一般行政	<p>3. 耳川木材加工団地について</p> <p>(1) 東郷町域の耳川木材加工団地には、企業7社が操業しているところであるが、飲料水である簡易水道施設が未整備のため、従業員等は水筒持参で出勤している。各事業所は、工場用の水源として耳川の河口近くに井戸を整備して使用しているが、耳川が増水する度に施設の故障や濁水等の被害が生じ、工場用水においても悩まされていると聞く。現在、工場の増設等も計画されており、誘致企業の環境改善として本課題の解決が必要であると考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 耳川木材加工団地の国道446号からの取付道路について</p> <p>団地用地は、「耳川流域木工団地生産・加工・流通対策協議会」が管理していると聞いている。しかしながら国道からの取付道路においては、1市2町2村の共有地であるため、その整備や改良を実施する際に、各自治体の同意が必要とされており、事業の即効性に支障を来していると聞く。これを解決するため、同取付道路の所有を同協議会に移譲するか、または、管内である日向市の所有とすることはできないか伺う。</p>	市長
一般行政	<p>4. 事業承継問題について</p> <p>昨今の中小企業及び小規模事業所における労働力不足、また、事業承継問題は喫緊の課題であると思われる。特に、事業承継問題は事業主が高齢化していく中、会社の存続にかかる問題であり、そこで働く従業者にとっても不安な要因となっている。それらを解消するための事業承継施策として、本市での取り組み状況、また今後の対応について伺う。</p>	市長
一般行政	<p>5. 森林環境譲与税について</p> <p>総務省は森林の整備や保全に充てる資金「森林環境譲与税」約100億円を配分した。配分額は、①私有林・人工林の面積、②林業就業者数、③人口の3基準で計算するとある。下記について伺う。</p> <p>(1) 本市の配分額はどの程度になるのか (2) 作業道補修、改良事業には活用されないか (3) 松くい虫被害対策（樹幹注入事業）に活用されないか (4) 若手新規就業者支援はどの様に取り組んでいくのか伺う</p>	市長



(2019) 令和元年 12月 2日

日向市議会議長 黒木 高広 様

[10 番] 日向市議会議員 松葉 進一 

発言（一般質問）通告書

令和元年第5回日向市議会定例会において、下記のとおり一般質問をいたしますので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

質問順位 5 番

質問項目	内 容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
一般行政	<p>1、貴重な観光資源の有効活用</p> <p>本市には、海、山を主体とした観光資源が多く存在し、特に細島から平岩、美々津と延々と続く海岸線に存在する柱状節理は、本市の海岸ならではの特徴ある景観を醸しだしている観光資源である。今後も、これらの観光資源をもっと有効に活かしていくべきだと思うが、以下について問う。</p> <p>(1) 金ヶ浜ビュー園地について</p> <p>最近、一躍脚光を浴びてきている景勝地に「金ヶ浜ビュー園地」がある。直近では、夜間（期間を定めている）はライトアップが施され、昼間と趣の違う景観美を醸し出している。</p> <p>「金ヶ浜ビュー園地」は、県、市の指導のもと、地元、平岩まちづくり協議会の方々が、草刈りなどの維持管理を行って、景観の維持に取り組んでいる。</p> <p>この園地について、本市の今後の取り組みと、地元のまちづくり協議会の取り組みに対する要望等について問う。</p> <p>(2) 美々津海岸遊歩道の整備について</p> <p>「金ヶ浜ビュー園地」を起点にした遊歩道に、平岩探勝遊歩道と美々津海岸遊歩道がある。</p> <p>美々津海岸遊歩道は、以前に整備されたままで、現状を見る限りではほぼ野放しの状態で荒れ放題となっている。</p> <p>延々3.1 キロメートルに及ぶ素晴らしい景観を持つ遊歩道をこのままにしておくのは余りにももったいない。</p> <p>本市の今後の対応について問う。</p> <p>(3) 平岩探勝遊歩道について</p> <p>いろいろと規制が多く、整備が出来にくくい状況にあったこの遊歩道も、行政の適切な指導のもと、地元の中学生を含む地域のボランティアが、平成29年から月一回定期的に整備に</p>	市長 教育長

	<p>取り組み、立派な遊歩道に仕上げている。</p> <p>本市の今後の取り組みについて問う。</p> <p>(4) 「平岩テラス」(10月オープン)の活用について</p> <p>平岩地区にある竹平山(平岩自治会所有、標高:180メートル)の頂上に「平岩テラス」を設置した。</p> <p>このテラスは、市街地及び、海岸線が眺望できる景勝の場所に位置している。</p> <p>平岩自治会の関係者は、「このテラスが今後、市民のコミュニティの場になって欲しい」と願っているが、本市としての活用を問う。</p>	
一般行政	<p>2、お倉ヶ浜海水浴場の案内標識の整備について</p> <p>(1) 現在、お倉ヶ浜海水浴場の案内標識は、国道10号の小倉ヶ浜入口の左右50メートル位手前にある電柱に取り付けられている2枚の標識があるのみである。</p> <p>遠方から訪れるサーファーに対して、もう少しあはっきりとわかる案内標識が必要である。標識の整備について問う。</p> <p>(2) サーファーが小倉ヶ浜に行くために、行き止まりになっている道路(平岩地区の市道及び、私道)に入り込むことが増え、地域の住民に迷惑をかけている。</p> <p>訪れるサーファーのために、看板(たとえば、「この先行き止まり」等の表示)の設置等はできないか問う。</p>	市長
一般行政	<p>3、大規模災害時における指定避難所の自立的な電源確保は</p> <p>本年9月に台風15号が千葉県に上陸し、大きな被害をもたらした。</p> <p>その時、大規模で長期間に及ぶ停電が発生し、市民生活に大きな支障をもたらし、大問題となった。</p> <p>本市でも、今後、同じような規模の台風の襲来や、地震等による災害が発生した場合、大規模停電が起こらないとも限らない。</p> <p>災害時に被災者が安心して避難生活を送るためには、食糧や、飲料水の確保のみならず、電源の確保は極めて重要である。</p> <p>令和元年5月現在の本市の避難施設・指定避難所(水害・土砂災害対象)は、小中学校(体育館・旧も含め)26校、市の体育施設・体育館4施設、市の公民館・地区公民館で30施設、</p>	市長 教育長

その他で合計 89 ケ所（条件がつけられているを施設含む）が指定されている。これらの施設における電源確保の状況と今後の取り組みについて問う。

- (1) 小中学校の自立的な電源確保の状況について
- (2) 体育館・公民館の自立的な電源確保の状況について
- (3) コミュニティセンターを含む他の施設の自立的な電源確保の状況について
- (4) 非常用電源確保のために、市内で発電機を所有されている建設会社、土木会社、建設機械リース会社等との災害時における非常用電源機器の借用（調達）等についての防災協定を締結することについて



(2019) 令和元年12月2日

日向市議会議長 黒木 高広 様

[8 番] 日向市議会議員 海野 誓生



発言（一般質問）通告書

令和元年第5回日向市議会定例会において、下記のとおり一般質問をいたしますので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

質問順位 6 番

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
一般行政	<p>1 議会での一般質問に係る答弁について</p> <p>議会での一般質問は、議会活動の中で市民の声を反映させると同時に、市長等の認識や見解を正す重要なものである。しかしながら、議会答弁の中で「検討する」、「研究する」とされた事項は、「議会一般質問に係る答弁進行管理事項」として、毎年3月定例会に報告書として議長に提出されるのみとなっている。</p> <p>一般質問は、単に市長等と議員の問題ではなく、市民の声を反映させるものであり、議場の様子は市民の傍聴や、議会だより、インターネット等で周知されている。したがって、現在のような文書での報告ではなく、市民への説明責任を果たす上からも、議場で報告すべきであると思うが、見解を問う。</p>	市長
福祉行政	<p>2 認知症の人が関わる事故等に対する支援について</p> <p>高齢化の更なる進行と75歳以上の高齢者の増加に伴い、認知症を発症する人が急速に増加し、2025年には認知症を発症している65歳以上の高齢者は、730万人へ増加し、5人に1人と推計されている。認知症を発症すると、地域社会においてトラブルや事故に遭遇するリスクが高まる。それは、本人の偶然の事故などによる本人の怪我の危険性だけではなく、踏切事故や他者の財産の破損などである。そして、認知症の人が与えた法律上の損害賠償責任がその家族や法定の監督義務者に及ぶ可能性がある。</p> <p>例えば、平成19年12月、愛知県に住む認知症患者の男性が線路内に立ち入り、電車にはねられ死亡しJR東海が妻と別居の息子に対し、事故による振替輸送費等の損害賠償約720万円を求める裁判が起こされている。</p> <p>このようなことから、全国の39の市町村において、民間の保険を使った事故救済制度を独自に導入しているようである。</p>	市長

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
教育行政	<p>認知症の人が、いつまでも住み慣れた地域で安全・安心に暮らし続けることができる社会を実現するためにも、本市においてもこの制度を導入する必要があると考えるが市長に見解を問う。</p> <p>3 美々津中学校区の小中一貫教育について</p> <p>本市は、平成17年7月に内閣府から構造改革特区の認定を受け、教育特区として全市を対象とした小中一貫教育を進めることとし、平成18年4月に平岩小中学校が施設一体型として開設されている。</p> <p>以後、地域の状況に応じた一体型、連携型等の一貫教育が進められている。平成26年6月議会の一般質問で「美々津中学校区の小中一貫教育」について質問しているが、その中で教育長の答弁として、「施設一体型においては、同じ職員室に小中学校の教職員があり、児童・生徒の情報や指導技術の共有化が図られ、様々な指導体制が工夫できる」とことから、一体型が望ましいとの答弁がされている。</p> <p>美々津中学校区においては、南海トラフ地震対策の補助金等の条件が整えれば、できるだけ早いうちに小中一貫校の建設を考えていきたとの答弁であったが、その後の進捗状況について問う。</p>	教育長



(2019) 令和元年 12月 2日

日向市議会議長 黒木 高広 様

[17 番] 日向市議会議員 森腰 英信  印

発言（一般質問）通告書

令和元年第5回日向市議会定例会において、下記のとおり一般質問をいたしますので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

質問順位 7 番

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
一般行政	<p>1. 全ての市民が安心できる防災対策を</p> <p>今般、日本に上陸した台風19号は関東、甲信、東北地方などで記録的な大雨となり、各地に甚大な被害をもたらした。特に今回、河川の氾濫や堤防の決壊が相次ぎ、洪水や土砂による、人的・物的被害が未曾有のものとなった。</p> <p>そこで、国は必要な追加費用を補正予算に盛り込んで「国土強靭化」の取り組みを加速させている。防災対策に力を入れている本市においても、これらの災害を目の当たりにし、対策の追加や方向修正を余儀なくされると考え、以下を問う。</p> <p>(1) 今回の台風19号を受けて、日向市としてどのような行動を起こしたかを問う。</p> <p>(2) 記録的大雨が降った際、日向市内で越水や流失など、特に危険がある堤防や橋などの工作物はあるか。</p> <p>あればそれは何処か伺う。</p> <p>(3) 過去に、「冠水している地域の抜本的対策は区画整理である」との見解を示されたが、相当の年数が掛かってしまう。「国土強靭化地域計画」を策定し、国の予算を獲得することは出来ないか問う。</p> <p>(4) 本年3月に作られた大規模災害時における「避難所運営マニュアル」は、様々な対応がきめ細やかに記載され、素晴らしい出来栄えであるが、実効性を持たせなければ意味がない。今後どのように取り扱っていくかを問う。</p> <p>(5) マニュアルの中には要配慮者の記載はあるものの、当事者の方々に聞くと「不安でしかない」とのことである。</p> <p>そこで、以下を問う。</p> <p>① 現在ある7か所の福祉避難所の受け入れ可能人数はいか程か。またそれは対象者の何割ほどをカバーできるのか伺う。</p>	市長

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
	<p>② 全ての福祉避難所が必要条件を満たしているか伺う。 (備品・機材・飲食物の確保、バリアフリー等)</p> <p>③ 今回の台風では福祉避難所を開設した 16 市町のうち、約 6 割が「一般の人が殺到し、本当に必要な人が利用できなくなる恐怕がある」とのことと、開設したことを非公表としている。本市ではどのように対応するのかを問う。</p> <p>④ 避難行動要支援者の個別避難計画は、各区で作成するよう促されているが、重症心身障がい児（者）等、互助・共助では対応が難しい方々の個別計画は、専門家による「災害時ケアプラン」の作成を含めて、行政で担うことができないか問う。</p> <p>⑤ 熊本市では熊本地震の際の反省を踏まえ、障がい児やその家族を優先して受け入れる、「福祉子ども避難所」となる協定を市内の特別支援学校などと結んでいる。本市でも可能か問う。</p> <p>⑥ 今回の台風では長期間の停電を余儀なくされる地域があつた。日常的に電源が必要な、医療的ケア児（者）の方々にとつては死活問題である。小型発電機や家庭用ポータブル蓄電池などの購入補助は検討出来ないか問う。</p>	
一般行政	<p>2. 高齢者の方々の社会参加を促す施策を 昨今の高齢者ドライバーの交通事故が多発していることを受け、早期に免許返納する方が増加し、多くの方々の行動範囲が狭まっている。 そのような中、市内の高齢者クラブもクラブ数・会員数ともに減少傾向にあり、社会参加する場が少なくなってきた現状がある。 ある大学で、高齢になって自動車の運転をやめた人は続けた人に比べて、要介護となる可能性が約 2 倍高くなるという調査結果を発表し、「活動量の減少が健康に悪影響を与える」という指摘を裏付けする形となった。 そこで以下を問う。</p> <p>(1) 高齢者クラブの制度設計を抜本的に見直し、65 歳以上の方が活動する場の創出を後押しできないかを問う。 (名称変更・事務作業の支援・ポイント制度導入等)</p> <p>(2) 働くことも大きな活動の場であるが、介護業界では人手不足が深刻で、高齢者を活用する動きが全国で広がっている。 高齢者に特化した就職相談を行政で担うことはできないか問う。</p>	市長

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
	<p>(3) 健康寿命の延伸を図る「フレイル（加齢により心身が老い衰えた状態のこと）」予防に取り組むには、その危険度を調べるチェック体制が不可欠である。</p> <p>常設チェックポイントや出張チェックの体制が組めないか問う。</p> <p>(4) 交通弱者対策として、国土交通省が推進する「グリーンスローモビリティ（電動で時速 20km 未満で公道を走る事が出来る 4 人乗り以上のパブリックモビリティ）」の実証調査が各地で行われている。</p> <p>本市においても有効な手段であると考えるが、当局の見解とその導入可能性を問う。</p>	

(2019) 令和元年 12月 2日

日向市議会議長 黒木 高広 様

[12 番] 日向市議会議員 西 村 豪 武 

発言（一般質問）通告書

令和元年第5回日向市議会定例会において、下記のとおり一般質問をいたしますので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

質問順位 8番

質問項目	内 容 (具 体 的 な 質 問 事 項)	答弁を求める者
政治姿勢	<p>1. 将来を見越した社会基盤整備の取り組みについて。</p> <p>(1) 東九州自動車道4車線化計画を見越し、地域産業の振興や観光浮揚の取り組み等の一貫として、以下に示す取り組みをすべきではないのか問う。</p> <p>① 美々津方面にスマートIC(インターチェンジ)付きサービスエリアかパーキングエリア等開設運動の展開とNEXCO等関係機関等への働きかけについて。</p> <p>② 本市独自にSA(サービスエリア)、PA(パーキングエリア)を設置する場所の可能性調査や観光、文化面への効果の調査等をすべきではないのか。 (cf. ※H27.3.「地形的条件も非常に厳しい、事業費も相当高額になると思われる」との答弁)</p> <p>③ 東九州自動車道の料金について、関係機関(者)等への料金値下げ運動展開の取り組みを、これまで以上の行動を起こすべきと思うが如何か。</p> <p>延岡以北の新直轄方式の無料区間は重宝されているが、現高速道路は暫定2車線で制限速度70km/h、全国一律の高料金だけは取られ時間短縮が見込めるとは云えない状況にある。</p> <p>イタリアでは高速道路有料制を探っているが、ローマより南の貧しい地域は大部分が無料とされ、一種の「富の再分配」と云われているとも聞く。</p> <p>「高速道路は交通量が少ないほど安く、多いほど高くし、交通量に応じた料金を設定することで過疎路線は活用され、混雑路線等は混雑時間帯を現状より値上げすることで交通の分散を図り、過疎路線値下げの原資も捻出できることになり、一石二鳥だ」と主張する学者もいる。</p>	市 長 教育長

質問項目	内 容 (具体的な質問事項)	答弁を求める者
政治姿勢	<p>この際、一般道の混雑の緩和策と交通事故を減らし、社会貢献にもつながる、つまり「役に立つ道路」にするための行動を起こすべきと思うが如何か。</p> <p>(2) 市街化調整区域の見直し等について。</p> <p>集落地区計画の策定で見直しが可能であることから、H25年6月の一般質問の答弁は「塩見地区を集落地区計画区域として位置づけることは厳しい状況である」。H31年3月の答弁では、「塩見、平岩地区等からの要望で、住宅建設の規制緩和や地元民と移住者との地域共存等の心配や開発による居住、営農環境の悪化を懸念する声等が出ている。それらの意見を総合的に勘案した結果、既存宅地においては、現行制度の活用により建築が可能であることなど事案ごとの建築相談や本制度に対する周知を図りながら今後も建築の動向を注視して参りたいと考えている」と答弁されているが、「新しい風が日向を変える!!」、「人が変われば街が変わる」と前回の「とや幸平のやる気宣言」には少なからず期待が掛けられていると思われる。</p> <p>この際、市長が掲げる「日向の未来を創造！」としての公約実現の対応が望まれるが如何か。</p> <p>(3) 内陸型工業団地の造成と企業誘致等について。</p> <p>① 首長就任後の企業誘致や雇用拡大の実績について「医療・福祉・介護などの関連産業の内陸型企業立地を頑張ります。」とマニフェストにあるが、その評価等については如何か。</p> <p>② 国土強靭化事業の国道327号バイパス工事残土処分の効率的活用による日向IC（インターチェンジ）付近や東郷地区への工業団地造成への取り組みをすべきと思うが如何か。</p> <p>③ 「地元企業をサポートし、新たな雇用の創出」とマニフェストにあるが、既存地場産業（企業）に対する行政支援の実績や課題分析等について。</p>	市 長 教育長

質問項目	内 容 (具 体 的 な 質 問 事 項)	答弁を求める者
政治姿勢	<p>2. 交通弱者や辺地等の移動手段の確保対策や観光面の交通アクセスの取り組み等について問う。</p> <p>(1) 『豊岡市の「チクタク（デマンドタクシー）」は画期的、かつ効率的な先進例であり、見習うべきである。 H28. 12 議会一般質問「日向市に当てはまるのかの調査研究が必要だ。」との答弁もあっている。これらの手法等の課題の精査とその後の対応について。</p> <p>(2) ライドシェアの取り組みについては「現時点での導入は困難だ。本市に適した新たな交通体系システムについて調査研究し、全国他市の実験の動向を見て判断したい」(H31. 3 一般質問答弁)。「国の動向等も見据えて、いろんな地域の公共交通の確保ということを、市としても検討しなければならない」(H31. 9 一般質問)との答弁だった。</p> <p>先ごろ、損保ジャパンの車両損害保険適用の報道もあり、事故責任の対応が可能になったようだが、本市に適合した先進市事例等の検討はどうなっているのか。</p> <p>(3) 乗り合いタクシー配車に対する運営会社への補助金交付について。</p> <p>前段で質問の対応等に時間がかかるのならば、投資対効果面では、岩手県雫石町の「あねっこバス」、山形市中山町の「スマイルグリーン号」、滋賀県彦根市等の「愛のりタクシー」も参考に市内のタクシー事業者等に運営委託し、補助金を交付することにより問題解決が可能となるが如何か。</p>	市 長 教育長
政治姿勢	<p>3. 地域活性化や観光振興の取り組みについて。</p> <p>(1) 「地域活性化の視点から、地域の花火大会等に対する支援の必要性を見極める」とした答弁(H29年6月議会)であったが、その論議結果はどの様に次年度に反映なされようとしているのか問う。</p> <p>(2) 「観光と歴史文化で人を呼ぶ・日向」の関係事業の展開と次年度予算編成への取り組みについて。</p> <p>①次年度の目玉となる事業等は何があるのか。 ②南部地区における関連事業の主なものは何か。</p>	市 長 教育長



(2019) 令和元年 11 月 29 日

日向市議会議長 黒木 高広 様

[16 番] 日向市議会議員

友石 司



発言（一般質問）通告書

令和元年第5回日向市議会定例会において、下記のとおり一般質問をいたしますので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

質問順位 9 番

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
観光行政	<p>1. サーファーの安全対策について</p> <p>第2次日向市総合計画の重点戦略に基づき「サーフタウン日向」として、サーフィンを生かした街づくり、移住促進を行っている本市ですが、今年の2件の死亡事故を踏まえ、近年、海での事故が増加していることをどう認識し、対応策を講じていくのか、サーフタウン日向であるからこそその独自の安全対策など以下を含めて質問します。</p> <p>(1) 海での事故を防止するための安全対策の考え方について問う。</p> <p>(2) 2件の事故を受けて開催された安全対策協議会は、今後も継続して行われていくのか問う。</p> <p>(3) 小中学校へのサーフィンの体験型学習の必要性を問う。</p> <p>(4) 海での事故防止の啓発チラシの反応と、今後の周知方法の在り方を問う。</p> <p>(5) 今後のサーフタウン移住施策の取り組みを問う。</p>	市長 教育長 消防長
一般行政	<p>2. 日向市総合体育館整備基本構想について</p> <p>現在策定中の基本構想ですが、市民の理解は深まっておらず、市民にとってこの規模である必要性と必然性を感じることができません。</p> <p>現在の想定規模は、施設を維持していく負担を考えると、将来への負の財産になり得るのではと危惧しています。</p> <p>また、市民の意見では、図書館新築を熱望する声も大きいが、今後の計画としてどう捉えているのか考え方を含め以下について質問します。</p>	市長 教育長

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
消防行政	<p>(1) 総合体育館の規模の根拠を問う。</p> <p>(2) ユニバーサルデザイン活用の認識を問う。</p> <p>(3) 市民プールへの考え方や今後を問う。</p> <p>(4) 総合体育館の災害時の活用方法を問う。</p> <p>(5) 市民説明会での市民の反応とそれに対する認識を問う。</p> <p>(6) 年間16万人強の利用者がいる図書館での地震災害時の対応と現状の安全管理を問う。また、新築の要望が高い図書館について、その検討はなされているのか問う。</p> <p>3. 防災体制の充実について</p> <p>全国各地で毎年のように自然災害が発生していますが、本市でもいつ起こってもおかしくないと認識し、不安を抱えている市民は多数いると思います。</p> <p>また、その危機意識が各地区での防災訓練への参加率の向上にもつながっている要因だと認識しています。</p> <p>そのような意識の下での、本市の消防体制・防災体制の現状について以下を含めて質問します。</p> <p>(1) 平時の利用の際、府内Wi-Fi接続が不便であるが、災害時の活用の際に弊害が出ないか問う。</p> <p>(2) 聴覚や発話に障がいのある方たちのための緊急通報システム（NET119 2.0）の整備に関する認識を問う。</p> <p>(3) 日向市防災訓練を防災フェスティバル的な位置づけにして、もっと市民との交流ができるよう展開する考えはないかを問う。</p> <p>(4) 避難山・避難タワーの誘導標識の設置状況を問う。</p>	市長 教育長 消防長



(2019) 令和元年12月2日

日向市議会議長 黒木 高広 様

[4番] 日向市議会議員 三樹 喜久代



発言（一般質問）通告書

令和元年第5回日向市議会定例会において、下記のとおり一般質問をいたしますので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

質問順位 10番

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
一般行政	<p>1. 幼児教育・保育の無償化の実態について</p> <p>幼保無償化が始まり、約2カ月が経過しました。「経済的負担が軽くなった」と、多くの子育て世代から喜びの声が寄せられています。一方で、幼保無償化を巡る課題も指摘され始めています。今回の幼保無償化は、少子化対策、子育て世代の支援を大幅に拡充する大改革ですが、これはゴールではなく、新たなスタートです。幼保無償化は、義務教育と同じく子どもたちに等しく充実した教育環境を提供することが理念の一つです。実態に正面から向き合い、解決を図っていくために行政の課題への認識と取り組みについて以下のことを問います。</p> <p>(1) 現在の待機児童の状況、特に0～2歳児の状況を問います。 (2) 預かり保育の利用状況に変化はあるのか。 (3) 保育士は充足しているか。 (4) 給食費の副食費分の実費負担に対し、どのような状況が起きているのか。 (5) 事業者の事務処理、行政の事務対応の負担は実施後どうなったのか。行政として事業者の事務処理の軽減化を図ることはできないのか。 (6) 国の対応について、行政からの要望はどのようなことか。</p> <p>2. 就職氷河期世代と8050問題の支援について</p> <p>就職氷河期世代とは、バブル崩壊後の厳しい雇用環境の中で、不本意ながら正規雇用につけず、非正規雇用として働いている方や未就職を余儀なくされた方が多い世代で、現時点では高卒で</p>	市長 教育長
一般行政		市長 教育長

質問項目	内 容 (具体的な質問事項)	答弁を求める者
	<p>概ね33～44歳、大卒で概ね37～48歳の方々のことを言います。</p> <p>また、8050問題とは、70～80代の親が40～50代のひきこもりの子どもの面倒を見続けることを指します。「ひきこもり」という言葉が社会問題として世に出始めたのは、1980年代から90年代にかけてのこと。当時は若者の問題とされていましたが、その当時ひきこもりになってしまった若者が、約30年経った現在までひきこもり続けてしまっていることが、この問題を引き起こしている要因です。以下支援について問います。</p> <p>(1)まず、日向市においての、これまでの就職氷河期世代と8050問題の支援の取り組みについて。</p> <p>(2)本市の大人のひきこもりの相談状況は。本人と会えて継続支援につながっているのか。</p> <p>(3)政府が策定した「就職氷河期世代支援プログラム」の支援の中に「断らない相談支援」とあります。「縦割り行政」ではなく、就職支援に加え、必要な場合には医療支援や福祉支援などチームの体制で当事者に寄り添うこととし、長期に関わることが、これまで以上に求められます。どのように体制づくりをしていくのか。</p> <p>(4)就職氷河期世代の就職支援に民間企業への募集枠の働きかけをしたことがあるのか。</p> <p>(5)納税に関する相談に訪れた高齢者から、ひきこもりの息子のことを打ち明けられ支援につなげた事例もあり、ひきこもりのいる家庭では、複数の問題を抱えることが多い。役所内で問題をたらい回ししない体制を整えるためには、窓口の一本化は、避けられないが如何か。</p>	
一般行政	<p>3.市民の命を守る防災力強化策について</p> <p>(1)総合治水の見地から、国の勧める防災・減災、国土強靭化のための3か年計画緊急対策(2018～20年度)の活用の状況を問います。</p> <p>(2)11月17日に実施された市総合防災訓練の市民の参加の位置づけはどういったものだったのか。</p> <p>(3)平成25年12月、平成30年12月議会でも提案しましたが、一人の命を守るための課題は、何より共生社会の構築ができるかにかかっています。市民の防災意識向上の一つの方法として、自治会(区)に加入していてもいなくても、家族みんなで参加することができる防災教育を始めた「(仮)</p>	市長 教育長

質問項目	内容（具体的な質問事項）	答弁を求める者
	<p>防災・減災フェスタ」を開催し、未加入世帯も自治区の防災訓練に参加していない世帯も巻き込み、地域とのかかわりを深める防災に特化したイベントが必要ではないか。</p> <p>(4) 先日の台風 19 号で、市から警戒レベル 3 の避難準備・高齢者等避難開始が出されたとき、某避難場所では他の地域からの避難者が多く、避難場所に指定された住民が避難できないという事態がありました。警戒レベル 3 時点の避難の在り方についての市の見解を示されたい。</p> <p>(5) 湯や水に溶かす必要がない常温で保存ができる乳児用液体ミルクを備蓄品に加えてほしいと考えるが如何か。</p> <p>(6) 災害時に避難所を速やかに開設し、円滑な運営を行うよう避難所開設キットの導入が必要だが、作製しては如何か。</p>	

